

市民と市役所が

ツナガル通信

発行日：平成 29 年 8 月 31 日

発行元：ESD・市民協働推進センター

岡山市役所本庁舎 2 階

月～金曜日、9:00～17:00

TEL：086-803-1062

070-5055-7589



CONTENTS

- *「おかやま協働のまちづくり賞」募集開始
- *64 課に協働ヒアリングを実施
- *課題共有ワークショップ開催ご報告

第 2 回「おかやま協働のまちづくり賞」の募集が始まります！！

「おかやま協働のまちづくり賞」は、多様な主体の協働で岡山市の社会課題解決を行う優れた取組を募集し表彰します。毎年テーマを変え、新しい取組を掘り起し、光をあて「協働」の可能性を広げていきます。テーマは、昨年度の市民協働フォーラムでのアンケートや、広報誌「市民のひろば」、おかやま NPO・ボランティアサイト「つながる協働ひろば」で広くご提案いただいた数々の候補の中から協働推進委員会で決定しました。

第 2 回のテーマは、「楽しんで年を重ねられる社会のために」年を重ねていくことを楽しみにできる社会、この人たちのように私も年を重ねていきたいというモデルとなる高齢者の姿を生み出している取組や、世代間交流など、超高齢化社会の課題を解決し、目指すべき社会の姿を実現しようとする取組を募集しています。協働のまちづくり大賞は 10 万円、協働のまちづくり賞は 5 万円の賞金があり、入賞取組は平成 30 年度中に 5 分程度の取組を紹介する動画を作成します。募集期間は 9 月 1 日（金）～10 月 31 日（火）です。みなさんのご応募をお待ちしています！！



64 課の協働推進員に協働に関するヒアリング実施中です！

岡山市の 64 課には協働推進員が配置されています。各課の事業を協働の視点で見なおしていき、各課の協働に関する窓口となるため現在研修中です。協働推進員さんに、各課で行われている事業について、市民協働企画総務課と ESD・市民協働推進センターでヒアリングを行いました。協働について考えるきっかけとしていくため、各課の事業 1 つを選んで協働になっているかいないか、あるいはもっと協働の観点で改善できることはないかなどを一緒に考える研修として実施したものです。

視覚障害者の方への「市民のひろばおかやま」の音読録音をしている朗読奉仕の会との協働や、岡山の歴史や文化について研究・展示企画をする市民学芸員との協働、若者の視点を生かした専門学校とのパンフレットづくりなど市民活動団体などの力が活かされた取組。健康づくりなどへの企業参加の促進や、関係団体とのネットワークにより力が発揮されている取組、住民と一緒に交通手段を考える取組等々、様々な協働が各課で展開されていることが今回のヒアリングを通してみえてきました。また、委託や補助事業が「協働」事業といえるためには何が必要なのかとか、より良い協働関係を模索していたり、協働のパートナーとなる市民団体の担い手育成を課題と感じていたり、課題はあるがパートナーを見出せずにいたり、協働への想いや、協働化していくことの面白さや難しさもお聞きすることができました。素敵な取組については、ツナガル通信で取材し今後ご紹介していきます。よりよい協働事業がひろがるように、ESD・市民協働推進センターとしても引き続きサポートしていけたらと思います。

課題解決にむけて、課題共有がスタート（第1回「課題共有ワークショップ（WS）」）

NPO、学校、事業者、町内会、行政などのあらゆる主体がそれぞれの情報やアイデアを交換し、解決をめざす課題を共有する課題共有WSが8月17日（木）に開催され、解決したい3つのテーマについて話し合いました。

テーマ「岡山市中心部とその他の地域を結ぶ面的観光コンテンツの創出」



北区奉還町でゲストハウスを運営するWH JAPAN（株）さんからテーマ提案。ゲストハウスの主な利用者である外国人観光客の多くが、岡山市を満喫することなく、倉敷市、香川県直島、広島県に移動されています。「少ない滞在時間の中で、岡山市にしかないコンテンツや体験があれば、『見る』『食べる』『遊ぶ』『買う』などの情報発信ができれば、もっと岡山市を楽しめるのではないか。」と問題提起。参加者は、観光担当の課や、国際課、タクシー会社、犬島の活性化に取り組む財団、公民館等から10名。自分が岡山に初めて来た旅行者なら、限られた時間の中でどのように楽しむか、どんな情報やサービスがあったら嬉しいかを考えるワークを行い、求める情報を得る難しさ、観光地同士のアクセスの悪さなどを共有し、情報、移動、コンテンツが旅行者に必要と合意。次回WSで、この3つの課題の関係者によびかけ課題の分析を行い、移動の要所である優位性を活かし、岡山市が広域周遊観光のベースとして、滞在しやすく、様々な体験も出来るオモシロイまちだと発信できるよう検討していきます。→10月27日課題分析WSへ続く！

テーマ「生活困窮者等の居住の安定確保支援」

生活保護・自立支援課からテーマ提案。居住相談をうけることのある市の関係課や、居住支援に取り組んでいるNPO法人、不動産業者など14名が参加。現在取り組んでいることと問題・課題を出し合いました。入居時の物件探しの難しさ、入居後の支援体制や地域との関係づくりなど、居住確保の困難事例などが共有されました。次回WSまでに、あらためて行政の関係課で現状・課題の共有を行い、支援団体に詳細なヒヤリングを行うこととしました。実効ある居住支援の仕組みづくりにむけて検討をすすめていきます。→10月27日課題分析WSへ続く！



テーマ「『農』の持つ多面性を活用した持続可能な農業と農村づくり」

農業の可能性をひらいていきたいという問題意識でみた農園さんがテーマ提案。大学、小学校、飲食店主、農業者、NPO、行政など幅広い立場から18人が参加。小学校と農業者・飲食店・オリент美術館が協働して実施した米作りから和食文化・農耕文化までを学ぶ授業事例や、JAの食農ツアー、フードバンクの取組、大学との協働で取組まれた農業でのセラピー実験など、農を活用した様々な事例が共有されました。「持続可能性」「多面的機能」「協働」の視点から捉えなおし、地域の持続可能性を高める農の取り組みを検討していきます。→別途検討会を開催します（日程未定）！



今年度第2回目の課題共有WSを9月29日（金）に開催します。テーマは①「自然との共生を実現する持続可能な鳥獣被害対策（主に食肉利活用）について」、②「外国籍者が生活習慣や文化の違いで困らないためのしくみづくり」、③「『西川パフォーマー事業』や『ホコテン！』を発展させた西川緑道公園におけるエリアマネジメントの導入」を予定しています。皆様のご参加をお待ちしています！